

～～市民活動団体の活動内容～～

団体名（園芸福祉ファームお～い船形促進隊）	）
団体の活動内容	【すべて公開】
（１）団体の活動目的	
1.市内障がい者施設、野田市との連携で障がい者の自立支援を目的とした園芸福祉の取組	
1.高齢者の健康維持を目標に仲間づくりと積極的な社会参加で心豊かな暮らしづくり	
1 年齢や障がいを問わず、誰でも参加でき、心身のリハビリ可能な農園の環境整備	
1 特定非営利活動法人の「だ・ひと粒の種(以下B事業)」と連携し園芸福祉活動を推進する	
（２）団体の活動内容（詳細） ※活動風景等の写真があれば掲載をお願いします。	
1. 障がい者施設の園芸福祉活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・4月/枝豆種まき、5月/サツマイモ苗植え、9月/大根種まきを実施後草取り作業や収穫体験をし、各施設や家庭の食卓で味わう ・促進隊メンバーで障がい者施設の活動を支援し、農園全体と作物の管理を担う。 ・毎週水曜日を定例活動日とし、運営維持のための農園活動及び、メンバー同士の交流・作業スケジュール等の打合せを実施。 ・運営維持の為、毎日の収穫・パッキング作業のローテーションを組み、出荷する。 	
現在、農産物直売所ゆめあぐり、パルシステム千葉中根店での販売収入で経費を賄っている	
2.高齢者の健康維持、仲間作りの推進（講座ご案内・募集チラシ資料別添付）	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域園芸福祉講座の開催で取組紹介、農園体験を通して仲間づくりと健康づくりを推進し、今後の高齢社会を地域で生きがいのある心豊かな暮らしが出来るような場づくりをしていく ・千葉大学、筑波大学の先生、支援センターちば、筑波農工研究所の協力を得て、園芸福祉活動で自然の下、植物や人との触れ合いを体感することで、健康維持や精神面のリハビリ効果があることの検証が可能であり、研修生の体験の場としても協力し合い講座と協働作業を行っている ・毎月第4金曜日、花の寄せ植え講座を実施(毎回12名ほど参加) 	
3.現代の社会的課題に貢献した農園づくり	
<ul style="list-style-type: none"> ・親子のコミュニケーション、精神的に病んだ方たちのリハビリの場として基盤整備を推進 ・精神的な理由で社会に溶け込めず、悩んでいる方のリハビリの場として受け入れられる農園として、地域のネットワークづくりを進め活動の充実を図る。 ・地域の高齢者が気楽に立寄りたり、イベントに参加できるよう、野田市介護予防課が進めているえんがわ事業に取り組みます。 	
4.B事業の活動目的とする、障がい者(利用者)の就労の場として農園活動を組織化する	
（３）団体としてPRしたいこと、その他	
※団体ホームページURL（コミュニティカフェ蔵楽より検索）	
農園は誰でも参加でき、其々の持っている経験や趣味なども発揮でき、1人ではできないことを皆で考え、話し合い実現することが出来、健康で豊かなくらし、生きがいづくりに繋がります	
<p>↓まずは、このページを見てください、そして支援をお願いします。</p> <p>https://readyfor.jp/projects/Noda_Hitotubuno_Tane</p> <p>お～い船形は、地域で支えあう新たな取組を始めます</p>	
	